

世 界 史

(問 題)

2012年度

〈2012 H24063424〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始してから、解答用紙の所定欄（2か所）に正確にていねいに記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。

受験番号は正確にていねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔Ⅰ〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問 1, 3, 4 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 2, 5 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

シュメール人は楔形文字を粘土板に刻み、祭祀・法律・歴史などを記録したが、この楔形文字は **B** 朝が紀元前 4 世紀に滅亡した後、アラム文字が主流となるまで古代オリエントで広く使用された。エジプトでも神聖文字が碑文や石棺などに刻まれた。シャンポリオンはロゼッタストーンの研究から神聖文字の解読に成功している。一方、アジアではインダス川中・下流域に成立したインダス文明において、インダス文字を刻んだ印章が発見されている。中国の殷墟で発見された甲骨文字は占いの結果を記したもので、**D** らによって解読が進められた。また、アメリカ大陸でも、マヤやアステカなどで絵文字が使用された。

設問 1 下線部 A について、復讐法で知られるハンムラビ法典が発見された場所はどこか。

- イ バビロン ロ スサ ハ ウル ニ ラガシュ

設問 2 **B** に当てはまる語句を記しなさい。

設問 3 下線部 C に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- イ 上段に神聖文字、中段に民用文字、下段にフェニキア文字の 3 種の文字が書かれている。
ロ ナポレオンによるエジプト遠征中にアレクサンドリア東方で発見された。
ハ ラメス 2 世とヒッタイトとの間でおこなわれた戦いについて言及したものである。
ニ 現在は、ルーヴル美術館に所蔵・展示されている。

設問 4 **D** に当てはまる人名はどれか。

- イ 魏源 ロ 章炳麟 ハ 王国維 ニ 梁啓超

設問 5 下線部 E について、アンデス地域において文字の代わりに意味や数量を示したものの名称を記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、設問 1～5 に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

A が率いるアテネは、**B** 戦争に勝利したのち、名実ともにギリシアのポリスの盟主となり、紀元前 447 年、アクロポリスの丘に、アテナ女神をまつるパルテノン神殿（図 1）再建に着手した。建築と彫刻の総指揮をとったのは、彫刻家 **C** である。

紀元後 6 世紀以降、パルテノン神殿は **D** 帝国の下で、キリスト教の教会となり、大理石に聖母マリアなどの壁画が描かれた。15 世紀以降オスマン帝国によって、パルテノン神殿は一時モスクとして使用され、ミナレットも増築された。

17 世紀後半にアテネがヴェネツィア共和国から攻撃を受けた際、火薬庫として用いられていたパルテノンは砲撃を受け、屋根などが大破して、多くの彫刻も失われた。

19 世紀初頭、イギリスの外交官であった **E** 卿はスルタンの許可を得て、パルテノンに付属する彫刻を大量に本国に持ち帰った。それらは今日「**E**・マーブル」と呼ばれて、大英博物館の至宝となっている（図 2）。しかしオスマン帝国から独立を果たしたギリシアは、今日パルテノン彫刻の返還を強く訴えている。「**E**・マーブル」問題は、ヨーロッパの博物館・美術館のありようを、私たちに考えさせるのである。

設問 1 **A** に当てはまる人名を選びなさい。

- イ テミストクレス ロ ペリクレス ハ クレイステネス ニ ペイシストラトス

設問 2 **B** に当てはまる語を選びなさい。

- イ ペロポネソス ロ スパルタ ハ テルモピレー ニ ペルシア

設問3 C に当てはまる人名を選びなさい。

イ プラクシテレス ロ エウリピデス ハ フェイディアス ニ ミュロン

設問4 D に当てはまる語を選びなさい。

イ ラテン ロ 両シチリア ハ ビザンツ ニ 神聖ローマ

設問5 E に当てはまる人名を選びなさい。

イ バイロン ロ ディケンズ ハ ワーズワース ニ エルギン

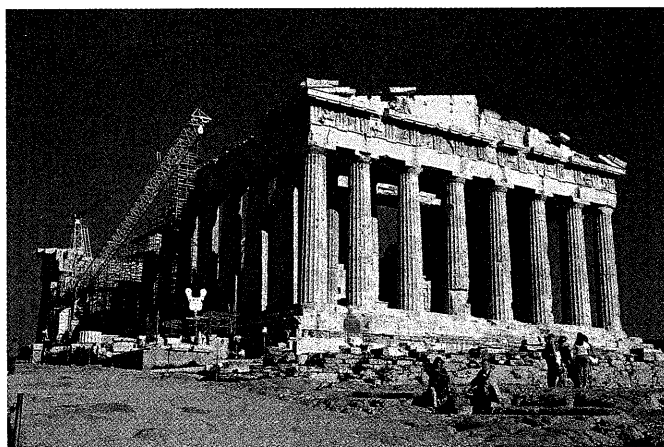


図1 アテネ,
パルテノン神殿



図2 ロンドン,
大英博物館,
パルテノン彫刻

〔Ⅲ〕 次の文を読み、以下の設問に答えなさい。設問1, 3はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問2, 4, 5は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

ユーラシア大陸の東部では3, 4世紀以降、トルコやモンゴル系の鮮卑・匈奴、チベット系の羌・氐などの遊牧民・牧畜民の華北への侵入によって、秦漢以来の伝統的な王朝は崩壊し、^a五胡十六国時代という分裂時代をむかえる。これ以後の遊牧・牧畜民の活動によって、^bそれまでの華北の文化は打撃を受け、^c新たな文化の創造にむかうことになった。こうした大変動をもたらした背景には、華北の冷害と旱害がくりかえされるなど、政治変動の要因の一つに気候の寒冷化があげられる。遊牧社会は、自然環境の変化に左右されやすく、遊牧・牧畜民の従前の生活を困難にしたと考えられる。実際に、^dユーラシア大陸をおおう遊牧民の移動が4世紀～5世紀にかけて南方の穀倉地帯におよんでいる。ユーラシア大陸の西部でも、ゲルマン諸部族の移動の影響を受けて、西ローマ帝国が減じるなど、^e3世紀～5世紀はユーラシア史の一大画期でもあった。

設問1 下線部aの民族と直接の関係がない王朝はどれか。

イ 北魏 ロ 北斉 ハ 東晋 ニ 前秦

設問2 下線部bの混乱を契機に、ある地域では開発が進み、後に重要な経済基盤となるが、その地域はどこか。

設問3 下線部cのような時代背景の下に創出された制度や文化と直接の関係がないものはどれか。

- イ 均田制 ロ 隋唐の長安城 ハ 仏教經典の翻訳 ニ 九品中正

設問4 下線部dのような現象が起きた時期に、朝鮮半島で初めて積極的な南下政策を採った王は誰か。

設問5 下線部eのように、ユーラシア大陸規模の遊牧民諸集団の活発な活動にともない、文化的、経済的ネットワークの拡大によって宗教の伝播が促進されたが、ササン朝で国教とされ、この時期に華北に伝わった宗教は何か。当時における中国側の呼称で答えなさい。

〔Ⅳ〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問1～5はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問6は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

清の雍正帝はキリスト教の布教を禁止し、これによってマテオ＝リッチ以来、イエズス会が長年にわたって続け、徐々に成果をあげてきた中国宣教事業は頓挫した。しかし皇帝に西洋の科学知識や技術・技芸によって仕えるイエズス会士は滞在を許され、その後も活動を続けた。ここにいたる一連の経過をみると、そこには中国と外来宗教の関係の本質があらわれてくる。

漢代に伝わった仏教は、その後、僧侶が皇帝に拝礼するべきか否かをめぐる論争に繰り返し巻き込まれた。これを「礼敬問題」といい、仏教を支配下に置こうとする皇帝と抵抗する仏教側との争いであった。最終的には僧侶が皇帝に臣を称し、王朝が出家の許可権を握る形で決着した。中国の伝統習俗や価値観を基盤として形成された儒教や道教はいうまでもないが、中国に伝来した唯一神アッラーを信仰するイスラーム教にこうした問題が起こらなかったことは、イスラーム教が世俗を超越する聖職者階層をもたなかったからであろう。

康熙帝の時代に起こった「典礼問題」は、イエズス会の布教方針である

A

 ことを教会が認めるか否かをめぐって起こった。それはキリスト教側における中国の習俗や価値観の受け入れの問題である。しかしその根底には、中国皇帝が、ローマ教皇の中国在住宣教師や信徒に対する権限を認めない姿勢があった。こうした中国の価値観と他者の価値観の関係は、すぐれて今日的課題でもある。

設問1 下線部1の説明として誤っているものはどれか。

- イ 雍正帝は、康熙帝の息子であり乾隆帝の父である。
ロ 雍正帝は、三藩の乱を平定して中国支配を強化した。
ハ 雍正帝は、前代に始まった地丁銀制を全国に施行した。
ニ 雍正帝は、反満州的な言動を厳しく弾圧した。

設問2 下線部2に関して正しい組み合わせはどれか。

- イ アダム＝シャルルと『崇禎曆書』 ロ ブーヴェと『坤輿万国全図』
ハ フェルビーストと『幾何原本』 ニ カステイリオーネと『清明上河図』

設問3 下線部3の説明として誤っているものはどれか。

- イ 宋から明にかけての儒学が「性理の学」といわれるのに対し、清朝の儒学は「考証学」が主流であった。
ロ 王重陽を開祖とする全真教は、儒教・仏教・道教の要素をあわせもち、とくに禅宗からの影響が強かった。
ハ 朱子学は、人や社会から自然・宇宙までの全存在の原理を、理と気によって説明する宋学の集大成である。
ニ 宋応星の『天工開物』は、道教の不老不死を求める練丹術から発展した明代の化学書である。

設問 4 下線部 4 の説明として誤ったものはどれか。

- イ イスラム教は、中国で回教とも清真教ともいわれた。
- ロ 南海遠征で名高い鄭和は、イスラム教徒である。
- ハ 中国は、タラス河畔の戦いで初めてイスラム教と接触した。
- ニ 海路来航したムスリム商人は、沿海都市にモスクを立てた。

設問 5 下線部 5 に関連して両者の関係が融和的であった事例はどれか。

- イ マカートニーの三跪九叩頭
- ロ 康有為の変法運動
- ハ ダライ＝ラマ13世の独立宣言
- ニ 仇教運動の展開

設問 6 A に入る文章を25字以内で記しなさい。句読点も1字とする。

〔V〕 以下の①, ②, ③のそれぞれの設問について指示に従い、マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、または記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

①

地中海の中央に位置するシチリアは、中世から近代にかけて、様々な民族や王朝の支配を受けながらも、独自の風土や文化を形成した地域である。シチリアは、西のローマ帝国の滅亡後、6世紀にビザンツ帝国の支配下に入り、9世紀にはイスラム教徒の支配下に置かれた。11世紀にはノルマン人がこの地を征服し12世紀に王国を樹立すると、シチリアは東西文化の結節点として栄える。13世紀前半に中世の両シチリア王国は最盛期を迎えるが、この時期の神聖ローマ皇帝 b はシチリア王も兼ね、十字軍ではアイユーブ朝との交渉でエルサレムも奪還するなど、西欧世界の政治で大きな役割を果たした。

^cシチリアは「シチリアの晩鐘」事件の後、ナポリ王国と分離し、西地中海世界の雄アラゴン王国に支配されたが、16世紀にはイタリ^dア戦争に巻き込まれ、大きな戦禍を受けた。18世紀にはスペインのブルボン家がシチリアの支配者になるが、ナポレオン戦争の動乱を経て、19世紀初めにシチリア王国とナポリ王国は再統一される。

同時に、19世紀のシチリアでは、西欧世界での市民革命運動の影響を受け、王政を廃して立憲国家を樹立しようとする運動が活発になった。しかし、イタリアのリソルジメント運動が高まると、1860年にガリバルディの率いる e によりシチリアは征服され、翌年、イタリア王国に併合される。独自の歴史をもつシチリアが北部イタリアと合体したことで、統一後のイタリアでは^f経済や社会における深刻な南北問題が生じた。

設問 1 下線部 a の説明として誤っているものは次のどれか。

- イ シチリアではノルマン、イスラム、ビザンツの文化が融合して独自の文化が生まれた。
- ロ シチリアではビザンツの影響が強く、王国初代の王は、神聖ローマ皇帝カール4世から国王の位を授与された。
- ハ シチリアでは多数のギリシア語文献がラテン語に訳され、「12世紀ルネサンス」の文化復興の一翼を担った。
- ニ シチリアでは宗教的寛容の政策により、イスラム教徒も高位の官職に就くことができた。

設問 2 b に入る名前を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 下線部 c の説明として誤っているものは次のどれか。

- イ アイユーブ朝を創設したサラディンは、エルサレムを十字軍から奪還したことで有名である。
- ロ アイユーブ朝はシーア派を保護し、各地にイスラム教の学院を建設した。
- ハ エジプトのアイユーブ朝は、マムルーク軍のクーデターにより倒された。
- ニ アイユーブ朝の支配地では、安定した通貨体制のもと、国際商業が拡大した。

設問4 下線部 d の説明として誤っているものは次のどれか。

- イ この戦争の原因の一つは、15世紀半ばにナポリ王国の支配者がアンジュー家からアラゴン王家に移ったことである。
- ロ この戦争は、フランス王アンリ4世がスペイン王フェリペ2世とカトー＝カンブレジ条約を結ぶことで終結した。
- ハ この戦争では、各国の間で常駐の外交使節による交渉が展開され、主権国家の理念が芽生え始めた。
- ニ この戦争では、神聖ローマ帝国の軍隊が敵対する教皇庁を屈服させるため、ローマで大規模な略奪を行った。

設問5 e に入る語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問6 下線部 f の説明として誤っているものは次のどれか。

- イ イタリア王国は当初、ヴェネツィア、教皇領を除外して成立した。
- ロ イタリア人居住地域でイタリア王国に併合されなかったトリエステ、南チロルなどは「未回収のイタリア」と呼ばれた。
- ハ イタリア王国は、ローマを首都として1861年に成立した。
- ニ イタリア王国の成立に至るイタリア統一戦争で、フランスは最初、イタリアと協力してオーストリアと戦ったが、途中で撤退した。

②

15世紀末のヨーロッパには、500近くもの独立政体が存在し、たがいに覇権争いを展開していた。この時代から16・17世紀にかけてのヨーロッパ社会は、内部における新しい動きや外部からの非ヨーロッパ的なものを取り込みながら対立と抗争を強め、より統合された近世（近代）社会へと変貌していった。当初のヨーロッパ内部の代表的な勢力国家としては、中世以来の伝統的な神聖ローマ帝国やフランスが大きな位置をしめていたが、イギリスが絶対的な統治体制を強化し、その後は新興勢力としてのスウェーデンやロシアも台頭することになった。一方、ヨーロッパの東方ではオスマン帝国という、ヨーロッパとは異なる文明のイスラーム国家が出現し、ヨーロッパに大きな脅威と影響を与えた。

オスマン帝国は、13世紀末にオスマン1世によって小アジアに建国されたのち、メフメト2世時代の1453年にコンスタンティノープルを征服して、ビザンツ帝国を滅ぼした。16世紀にはいとオスマン帝国は最盛期を迎え、スレイマン1世時代の1529年にウィーンを包囲してヨーロッパ諸国を恐怖に陥れ、地中海の制海権を手中にした。オスマン帝国はヨーロッパとは異なる政治体制や独特な制度をとっていたが、ヨーロッパ諸国はこれと通商関係を結ぶなどして共存関係を図った。オスマン帝国はその後レバント沖の海戦でスペインなどの連合艦隊に敗れてからも、ヨーロッパの東方にいぜんとして大きな勢力を持ち続けた。

設問1 下線部 a に関連して、16世紀の神聖ローマ帝国やフランスについて述べた次の説明の中で、明白な誤りを含むものはどれか。

- イ 神聖ローマ皇帝カール5世はスペイン王カルロス1世を兼ね、ヴォルムス帝国議会を招集して、ルターに所説の取り消しを求めた。
- ロ 神聖ローマ皇帝側は、シュマルカルデン同盟を結成して、ドイツ諸侯や都市と対立した。
- ハ フランス王フランソワ1世は、その治世下にレオナルド＝ダ＝ヴィンチを保護するなどして、フランスでのルネサンスを開花させた。
- ニ フランスでは16世紀半ばにユグノー戦争という宗教戦争が勃発したが、16世紀末のナントの勅令で終結した。

設問2 下線部 b に関連して、15～17世紀のイギリス、スウェーデン、ロシアについて述べた次の説明の中で、明白な誤りを含むものはどれか。

- イ イギリスでは、ランカスター派のヘンリ7世がテューダー朝を開き、皇室庁裁判所において絶対王政化を図った。
- ロ 16世紀のイギリス女王メアリ1世は、フランス王室と婚姻関係を結んで、カトリックを復活させようとした。
- ハ スウェーデンは17世紀の国王グスタフ＝アドルフの下で、三十年戦争に新教勢力として加わった。
- ニ 16世紀のロシア皇帝イヴァン4世は「雷帝」と呼ばれ、対外戦争を強行し、貴族を抑えて集権化に努めた。

設問3 下線部 c に関連して、ビザンツ帝国について述べた次の説明の中で、明白な誤りを含むものはどれか。

- イ ビザンツ皇帝ユスティニアヌスは、ヴァンダル王国、東ゴート王国を征服し、トリボニアヌスに命じて古代ローマ法を集成させた。
- ロ 8世紀前半に聖像禁止令がビザンツ皇帝レオン（レオ）3世によって発布され、これが東西両教会の論争になった。
- ハ ビザンツ帝国は、帝国の領土をいくつかの軍管区に分け、その司令官に軍事・行政の権限をあたえる軍管区制（テーマ制）という制度をした。
- ニ ビザンツ帝国においては、皇帝権と教会権が明確に分離され、ギリシア正教会の首長としてのコンスタンティノープル総主教は皇帝からの独立性を確保した。

設問4 下線部 d に関連して、オスマン帝国の制度について述べた次の説明の中で、明白な誤りを含むものはどれか。

- イ オスマン帝国のスルタンは、強大な権力を保持する専制君主でイスラーム法に基づく政治を行い、のちにカリフを兼ねるスルタン＝カリフ制をとった。
- ロ オスマン帝国は騎士に対し、軍事奉仕への代償として、ティマールという封土・徴税権を与えた。
- ハ オスマン帝国はデウシルメという制度によって、強制的に徴用されたキリスト教徒の子弟をイスラーム教に改宗させ、教育・訓練をして要職に採用した。
- ニ オスマン帝国は、スルタン直属の騎士身分から徴集して、イエニチェリという常備騎馬軍団をもった。

設問5 下線部 e に関連して、フランス（のちイギリスやオランダ）商人などは、オスマン帝国領内での居住と通商の自由が公認されたが、このような恩恵的な特権のことを一般的に何というか。その英語名をカタカナで表記し、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

③

18世紀初頭インドにおけるイギリスの地位はいまだ強力なものではなかった。当時イギリス東インド会社は、小さな漁村であったベンガル地方、カルカッタ（現名コルカタ）に貿易拠点を作っていた。当時の英印関係はいまだ商業貿易にとどまっていたが、18¹世紀後半にイギリスがインドにおける支配的地位をフランスとの激しい争いを経て獲得すると、ベンガル太守の地位をめぐる争いなどインド内政問題に積極的に介入していく。

19²世紀に入ると東インド会社を中心とするイギリスのインド支配はさらに拡大していった。そこでイギリス人はインド人の古来の慣習に触れるわけであるが、その中には西洋人の理解を超えたものも多かった。たとえば亡くなった夫の焼かれる薪に、残された未亡人も飛び込む **a** がその典型である。またインド人の側でもこれらの習慣を陋習として批判する、ベンガル出身の社会改革運動家 **b** などが現れた。19世紀中葉になると、インド人知識人の中にはイギリスがインドを不当に搾取しているとし、インド国民会議創設に参加してその議長を務めた **c** などの主張が目立ち始めた。これに対してイギリス側は懷柔弾圧³の両面に対応した。

設問1 下線部 1 に関し、インドベンガル地方について、年代順で3番目にあたるのはどれか。

- イ ベンガル州をイスラーム教徒の多い東ベンガルと、ヒンドゥー教徒の多い西ベンガルに分割するベンガル分割令（カーゾン法）が成立した。
- ロ 国民会議派がカルカッタ4綱領を制定した。
- ハ イギリス人クライヴが初代ベンガル知事になった。
- ニ 西ベンガルの地でブラッシーの戦いがおこった。

設問2 下線部2に関し、18世紀以降のインドについて誤っているものはどれか。

- イ 1840年代、西北インドのシク教徒がイギリス軍に抗したが敗北した。
- ロ シバーヒー（セポイ）の反乱は、叛徒がデリー奪取に失敗したことで急速に終息した。
- ハ 1858年、ムガル皇帝は流刑に処せられ、ムガル帝国は名実ともに滅亡した。
- ニ 18世紀、カーナティック戦争が3次にわたって英仏間でおこった。

設問3 に当てはまる語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 に当てはまる人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 に当てはまる人名はどれか。

- イ シャー＝フリーウッター ロ カピール ハ ラクシュミー＝バーイ ニ ナオロジー

設問6 下線部3に関し、19～20世紀イギリスの対インド政策について誤っているものはどれか。

- イ 1917年、イギリスのインド相は、第一次大戦終了後インドの自治を漸進的に進めることを約した。
- ロ 19世紀後半イギリスは、幹線鉄道網をインドに建設していった。
- ハ 1906年、イギリスは国民会議派との分断を図るため、全インド＝ムスリム連盟の結成を指導した。
- ニ 1919年のローラット法は、広汎にインド人の人権を認めるものであった。

〔Ⅵ〕 次の文章を読み、図を見て設問1～5に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

近代絵画は19世紀後半のパリにおいて、その創始者とされる画家 とともに始まった。その背景として、富裕な市民階級の成熟とともに の発明などの科学技術の発達、遠くは中国や日本など、アジア世界からもたらされる美術の影響も大きかった。

は、後進の若い画家たちが多く参加した、いわゆる「印象派展」には作品を出さず、あくまでも国家主催の展覧会である「サロン」に出品し、そこが保守的なアカデミズムと戦う場と考えていた。 の代表作の一つ、1866年の《笛を吹く少年》（図1）は、大胆なタッチのもとに単純で力強く造形化された少年の存在を、ただ空気の間が感じられる何もない空間の中にあざやかに浮かび上がらせている。そこには、彼がその絵の制作の前年に 旅行で感銘を受けた17世紀バロックの代表的な宮廷画家ベラスケスとともに、当時 の流行で注目していた浮世絵からの影響がうかがえる。

1874年に始まる「印象派展」は、「サロン」に落選した画家たちの発表の場として船出したものであったが、その名称は画家 がその第一回展に出品した作品《印象―日の出》をからかって使ったのが始まりであった。この画家は印象派を代表する画家の一人で、一連の「睡蓮」（図2）を題材にした作品でよく知られている。しかし、「印象派展」は1886年の第8回展で幕を閉じ、その後はゴッホ、ゴーギャン、セザンヌなど後期印象派（ポスト印象派）と呼ばれる画家たちの活躍で20世紀の登場を迎えるのである。

設問1 に入る語を選びなさい。

- イ ミケランジェロ ロ マティス ハ マネ ニ カラヴァッジョ

設問2 に入る語を選びなさい。

- イ 遠近法 ロ 映画術 ハ 写真術 ニ 銅版画術

設問3 に入る語を選びなさい。

- イ スペイン ロ イタリア ハ モロッコ ニ エジプト

設問4 **D** に入る語を選びなさい。

イ ロマン主義 ロ ジャポニスム ハ シノワズリ ニ 象徴主義

設問5 **E** に入る語を選びなさい。

イ ピカソ ロ クールベ ハ ゴヤ ニ モネ



図1 《笛を吹く少年》
1866年，パリ，
オルセー美術館



図2 《睡蓮》
1907年，東京，
ブリヂストン美術館

〔以 下 余 白〕

